



2020年4月28日

各位

会社名 **愛三工業株式会社**
 代表者名 取締役社長 野村 得之
 (コード番号 7283 東証・名証第1部)
 問合せ先 経営企画室長 長尾 光宏
 (TEL. 0562-48-6215)

特別損失の計上、通期業績予想値と実績値との差異ならびに剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、2020年4月28日開催の取締役会におきまして、下記の通り特別損失の計上を行うとともに、2020年1月30日に公表しました、2020年3月期の通期業績予想値と、本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。また、2020年3月31日を基準日とする剰余金の配当について、下記の通り決議しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、国内で保有する固定資産について将来の回収可能性を検討した結果、収益性の低下が見られたため、減損損失として8,736百万円を特別損失に計上いたしました。

2. 2020年3月期 通期業績予想値と実績値との差異について

通期業績予想値と実績値との差異(2019年4月1日～2020年3月31日)

金額単位:百万円

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	206,000	7,400	7,200	2,600	41円28銭
実績値(B)	205,489	7,226	6,866	△5,073	△80円55銭
増減額(B-A)	△511	△174	△334	△7,673	-
増減率(%)	△0.2%	△2.4%	△4.6%	-	-
[参考]前期実績	213,494	8,227	8,181	6,124	97円26銭

差異の理由:

当社グループは収益体質の強化に向けて、国内事業の構造改革に取り組んでおります。自動車市場の環境変化に伴う製品変化が急速に進むなか、国内事業における生産設備について、事業環境および今後の業績見通しを勘案して、回収可能性を検討した結果、自動車部品の生産設備等について、収益性の低下が見られたため、8,736百万円を特別損失に計上いたしました。

以上により、親会社株主に帰属する当期純利益は△5,073百万円となり、2020年1月30日に公表しました通期業績予想を下回ることとなりました。

3. 剰余金の配当について

①配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (2019年4月25日公表)	前期実績 (2019年3月期)
基準日	2020年3月31日	同左	2019年3月31日
1株当たり配当金	7円	14円	13円
配当金総額	440百万円	—	818百万円
効力発生日	2020年6月15日	—	2019年6月13日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

②決定の理由

当社は、安定的な配当の継続と、連結業績および連結配当性向等を総合的に勘案して、株主の皆様のご期待にお応えしていきたいと考えております。

自動車市場の環境変化ならびに新型コロナウイルス感染拡大に伴い、当社グループ事業にも影響が及んでおります。このような状況を鑑み、誠に遺憾ではございますが、当期の期末配当金につきましては、前期から1株につき7円減額し、1株につき7円(年間20円)とさせていただきます。

なお、本件は2020年6月12日開催予定の定時株主総会の決議を経て、実施いたします。

(参考) 年間配当金の内訳

基準日	1株あたり配当金(円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
当期実績(2020年3月期)	13円	7円	20円
前期実績(2019年3月期)	14円	13円	27円

以 上